

## 学校運営協議会で 地域とともにある学校づくりをさらに進めていきましょう！

本市では、明治維新により都市衰退の危機に直面しましたが、「まちづくりは人づくりから」との理念から、町衆が私財を投じ、学制発布に先立つ明治2年に日本初の64の地域制小学校「番組小学校」を創設し、今年で150年を迎えます。

このような「地域の子どもは地域で育てる」という育み文化は、今も地域に息づいています。その具体的な姿の一つである学校運営協議会では「学校の応援団」として企画推進委員会が中心となり、学校教育と連動した地域学校協働活動（P1～3参照）を行うなど、地域とともにある学校づくりが進められています。

学校運営協議会設置数一覧（平成31年3月31日時点）

校種	設置校数（割合）
幼稚園（全15園）	15園（ <u>100%</u> ）
小学校（全159校）	159校（ <u>100%</u> ）
中学校（全67校）	56校（83.6%）
義務教育学校（全6校）	6校（ <u>100%</u> ）
高等学校（全9校）	1校（11.1%）
総合支援学校（全8校）	8校（ <u>100%</u> ）
合計	245校・園

※ 中学校、義務教育学校のうち小中合同で設置：34 中学校区

### 京都府内の高等学校 **初** の学校運営協議会を設置！—塔南高等学校—

塔南高等学校では、平成30年度から文部科学省の研究指定を受け、地域・大学・PTA・同窓会等の参画のもと「塔南高等学校学校運営協議会の方向性」をとりまとめ、平成31年3月13日に学校運営協議会の発足式を実施しました。学校運営協議会では、生徒が教育活動を報告するなど主体的に関わり、地域や大学・企業等の方々から支援いただく教育支援組織「サポートボード」を核に、学校教育を通してよりよい地域・社会を創出する活動に取り組んでまいります。



塔南高等学校 学校運営協議会発足式

### 深草小学校、久世中学校区学校運営協議会が文部科学大臣表彰を受賞！！

#### <深草小学校学校運営協議会>



地域の方と竹トンボづくり

#### ここが評価されました！

学校運営協議会が核となり「子どもたちに地域を愛する心を育てたい」という思いを学校と地域が共有し、地域から積極的なご支援のもと、竹トンボづくりをはじめとする「地域産業と連携した学習」等を実施しています。また、それらの取組を学校のホームページや学校便りで積極的に情報発信し、地域と連携した教育活動の更なる充実を図っています。

#### <共同機構久世学校運営協議会（久世中学校区学校運営協議会）>



久世スタンダード

#### ここが評価されました！

久世中学校、大藪小学校、久世西小学校による合同の学校運営協議会では、「義務教育9年間を通じた学力向上」に焦点を当て、学力の実態や課題、学力向上対策についての熟議を積み重ねて、授業規律や生活規律を一貫させる「久世スタンダード（児童・生徒版、保護者版、教員版）」を作成する等、家庭・地域ぐるみで粘り強く頑張れる子どもの育成を図っています。

# 学校運営協議会ならではのアイデアがどんどん広がっています！

## ①小中合同による学校関係者評価を実施！

(花山中学校区：花山中学校・鏡山小学校・陵ヶ岡小学校)

課題を分析し、  
支援策を熟議！

花山中学校区では、平成29年度より小中合同の学校運営協議会を設置し、中学校区全体で目指す子ども像を共有するとともに、学校関係者評価を実施しています。

小中合同の学校関係者評価を実施するために、各校の保護者、児童生徒によるアンケート項目の一部を中学校区で統一し、全国学力・学習状況調査や京都市小中一貫学習支援プログラム（プレジョイントプログラム、ジョイントプログラム、学習確認プログラム）※の結果等とあわせて各校での自己評価を実施しています。

更に、それら自己評価から見えてきた各校共通の成果や課題、各種調査の具体的な結果を小中合同の理事会で提示することで、教職員だけでなく地域の方々も子どもたちの9年間の学びと育ちに関する熟議につながり、地域と各校、小・小、小・中学校間での協働活動の検討を進めています。

小中合同アンケート分析(例)

授業や家庭学習など、自らすすんで学ぶことができていますか。



<上記「小中合同アンケート分析(例)」以外に統一している評価項目>

- 1 人の話をよく聞いたり、自分の考えや思いを相手に伝えたりすることができていますか。
- 2 自分や友達、家族や周囲の人を大切にしていますか。
- 3 友達や家族、地域の人に、気持ちよく自分からあいさつしたり、必要なときはごめんなさい、ありがとうの言葉が言えますか。
- 4 定期的に、自分からすすんで運動する時間を作っていますか。
- 5 規則正しい生活習慣を身に着け、病気の予防など、健康を保つ努力をしていますか。

※「既習事項の復習→確認テスト→補充学習」の学習サイクルを通して子どもたちの自学自習の習慣化、学力向上を図るための京都市独自の学習プログラム。小3～中3まで計15回実施。

## ②地域ぐるみで食育を推進！（上鳥羽小学校）



栽培体験(九条ねぎの収穫の様子)  
3年「総合的な学習の時間」

上鳥羽小学校は、平成19年度に学校運営協議会を設置しました。校区が「京野菜の産地」であることを活かし、設置当初は、5年生を対象に地域の農家の方のご支援のもと、『お米』の栽培体験を実施しました。現在では、ご支援いただく輪も広がり、お米の栽培に加え『金時にんじん』や『九条ねぎ』『壬生菜』等の栽培体験を、1～2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間に位置づけて実施しています。

年度末には、今までご支援いただいた農家の方をはじめ、保護者や地域の方を招き、栽培体験を通して学んだことについて、各学年が発表するなど、協働活動を通じて、子どもたちの食に関する興味や関心、いのちや生産者へ感謝する心を育てています。



栽培体験を発表する様子  
3年「総合的な学習の時間」

### 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三笠（北海道） 西総合支援学校運営協議会が実践発表！（平成30年10月12日）



西総合支援学校の発表

平成30年10月12日に北海道三笠市で、全国コミュニティ・スクール研究大会が開催され、本市からは西総合支援学校運営協議会が「子どもたちの姿などを地域に情報発信することで、地域から協力を得られるようになった」事例等を発表されました。



# ～みなさんの意見が、子どもたちの豊かな学びと育ちを支えています～

本市の学校運営協議会の理事会においては、学校運営の基本方針の承認の他、年2回（前期・後期）の学校アンケートや全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学校関係者評価を行う等、PDCAサイクルによる学校評価を進めています。

なお、理事会における熟議では、単に課題を共有するだけでなく、その課題解決に向けた具体的な支援策等について検討を進めるとともに、理事や企画推進委員会の方々自らが、以下のような地域学校協働活動を実施するなど、日々、子どもたちを支えていただいております。



学校運営協議会の理事会の様子

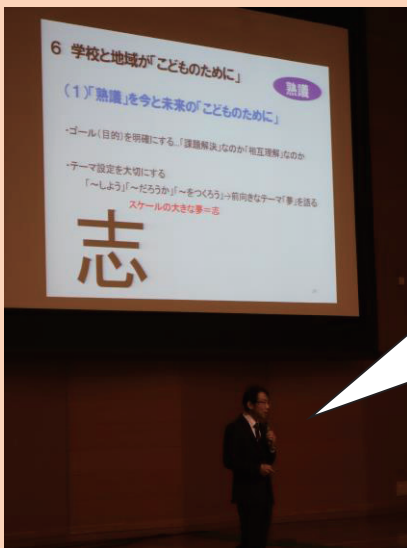
## 学校運営協議会での熟議の結果、実現した地域学校協働活動の事例

- ① 地域ボランティアによる子どもたちの算数「かけ算（九九）」の聞き取り。
- ② 総合的な学習の時間において、地域の方と子どもたちが意見を出し合い、「校区内安全マップ」を作成し、児童・保護者・地域へ配布。
- ③ 子どもたちのスマートフォンの使い方について、学校運営協議会で意見を出し合い、使用上のルールを掲載したリーフレットを作成し、児童・保護者・地域へ配布。
- ④ 「学校・幼稚園の働き方改革推進宣言」等のもと教職員の負担を減らすために、地域ボランティアの方々、学校閉鎖日などに学校の「花壇への水やり」や「生き物への餌やり」等を実施。

# コミュニティ・スクール研修会を開催しました！

平成30年10月16日に京都市総合教育センターにて、コミュニティ・スクール研修会を開催し、新町小学校と西ノ京中学校から、「地域学校協働活動の充実を図るうえでのポイント」等について、具体的な事例を交えながら発表されました。

また、京都光華女子大学 西 孝一郎 准教授（文部科学省：コミュニティ・スクール推進員）から、「京都市の学校運営協議会の今後の在り方」等について指導・助言いただきました。



京都光華女子大学 准教授  
西 孝一郎 氏 による指導・助言

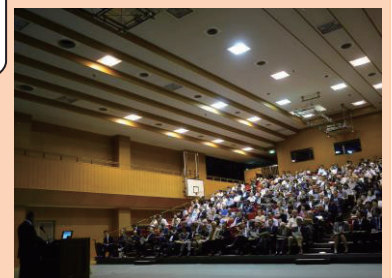
企画推進委員会の方々には、野外活動施設『花背山の家』や『みさきの家』での宿泊学習でご指導いただきました。

学校運営協議会では、「学校運営の基本方針の承認」や「熟議」に加えて、地域学校協働活動を通じた「地域ぐるみで子どもたちを育てること」が大切！

進路指導の一環として企画推進委員会の方々から、生徒へ面談指導いただきました。



新町小学校の発表



西ノ京中学校の発表

# 「京都方式」の学校運営協議会 基本構想図

「一体的な運用」が  
京都方式の最大の特徴！

学校・家庭・地域の協働による

## コミュニティ・スクール(C・S)

校長・園長

リーダーシップ

教育委員会  
学校運営  
教育活動



説明

学校運営の  
基本方針

自己評価 承認

学校評価※  
[子ども 課題  
学校 の 成長  
成果  
「検証・共有・改善」]

学校関係者評価

学校運営・教職員の任用に関する意見



参画

## 学校運営協議会

【理事会】

学校運営や必要な支援に関する協議



保護者  
地域住民  
有識者  
公募委員  
など

【企画推進委員会(学校の応援団)】

地域学校協働活動

【企画推進委員会の例】

- 図書館活用
- 学校安全
- 学習支援
- 伝統体験
- 放課後まなび教室

活動評価

学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会

(保護者・学識経験者・校長会代表等)

支援  
協力

情報  
発信

保護者 地域住民等

※学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるように、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

### 学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会

学校運営協議会や学校評価の活動充実に向けて、学識経験者や公募委員などから構成される外部の検証委員会に、毎年度学校の取組を視察いただき、ご助言をいただいています。

保護者や地域の声を大事にすることは大前提ですが、その手法はアンケートだけではないはず。学校が「アンケート疲れ」にならず、自らの教育活動の振り返りができるように、アンケートの回数や質問数の精選を！

平成30年度第1回検証委員会議の様子



◆平成30年度視察先  
七条小学校・七条第三小学校・七条中学校  
開晴小中学校・東山泉小中学校

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549

電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000038884.html>



京都市  
CITY OF KYOTO

